

【地域活動の視点】

「人口減少の中でも
幸せ感を育む」を考える

新潟産業大学附属柏崎研究所
主席研究員 春日俊雄

【はじめに】

いま、地域社会では人口減少・超少子高齢化の進行に伴い、学校統合や交通機関再編、人手不足、日常便益施設の撤退など次々とその影響が表れている。今後さらに深刻さを増す人口減少に行政のみならず地域社会がこの変化に対応し、新たな考えや仕組みを生み出して次世代につながるローカル・イノベーションを進めていくことが重要である。

日々の暮らしや生き方、考え方の大本となる価値観も多様化しながら揺れ動いて、まさに時代が様変わりしつつあり、地域社会を支えて来た従来の組織や仕組みが上手く機能しなくなっている。

しかし、このような先の見えない不安な時代であっても「心豊かに幸せ感を持って愉（たの）しく生きる」ということが特に大事であると考えている。なんといっても一度限りの人生なのだから。

クリエイターの杉本博司氏は瀬戸内デザイン会議の中で「この年まで世界中を駆け巡りながら自分なりに考えたこととして、日本列島こそ稀有（けう）な自然遺産で世界中にこんな島はない」と言っている。またグラフィックデザイナーの原研哉氏は「一千年を超える長期間、日本民族は他の民族と入れ替わることなくさまざまな文化を積み上げてきた」と言っている。

それぞれの地域で自然や歴史・文化をベースにさらに知恵や工夫を重ねてきた暮らしが現在の生活の根底にあり、日本はなかなか大したものだと改めて感じ、世界の中でも「希望の島」の一つだと思っている。

そこで、今の時代にあった地域社会の仕立て直しが求められる。

「仕立て直し」とは、古い衣服を別の衣服に作り替えることである。地域に当てはめると、地域状況の把握や今後のあるべき姿を基に新しい考え方でこれからの地域運営の組織や仕組み、実施事業などを作り替えるということになる。なぜ新調ではなく仕立て直しなのかというと、時代が変わってもその地域の根源的な価値（コアバリュー）は変わらないので、それを土台に時代にあったより機能的で情緒的なものに作り替えることである。

地域社会は歴史もあり、人数も多く、複雑なため仕立て直しには、時間と粘り強い取り組みが求められる。

【提案】地域活動の視点
2024年度も引き続き行政やコミセン、高校、農業、商店街等の関係者との意見交換を行う中で、第四の柱に「公民・学連携による「若い地域人材を応援する空気・仕組みをつくる」を新たに加えて提案している。

また左の表①②の「日常の豊かさ」をつくる方法の一つとして、③住民共創によるニューインフラの充実④美化（掃除・草刈り）を掲げた。

【地域活動の視点】「人口減少が進む中でも幸せ感を育む！」を考える

- ※いま住んでいる地域を自ら、そして共に耕していく心持ちを！
1. 地域の子カヲを示す・魅せる <アウトプット>
 - (1) 「新しい価値・愉しさ」をつくる (前掲案の活性化！ドーパミン)

どんな方法で：日常の営みの中で！日々の学びの中で！地域の発展：一人ひとりの豊かさ、満足度の向上！
時間的余裕の中から魅力や価値を見いだす (風土・歴史・地域の本来) 学び合う・愉しみ方
共創の可能性で共感による「ゆるいつながり」が生まれる
 - (2) 地域内の「ゆるいつながり」をつくる (自分を高める共生活動：自分ごと一地域ごと一皆の中ごと)

どんな方法で：必要に応じて、互いの強弱を知る一環一ネットワーク化 (共生社会：ベースは共感、ヨコの人間関係)
共創の可能性で共感による「ゆるいつながり」が生まれる
 - (3) 地域内の「日常の豊かさ」をつくる (モノ・コト・ココロ中心、個々・集団中心)

どんな方法で：①既存組織の機能アップ：新年・若者の参画、人口の減少に伴う組織の見直し、改革
②「住民共創でニューインフラの充実 (飲食店、地域内交流拠点、外とつながる拠点、自然との共生・行き場)」
③「美化 (掃除)」
 2. 外との「つながり」をつくる <交流人口・関係人口>

どんな方法で：地域の価値・愉しさを介した「コトのつながり」(課題一センスあるオリジナルティ)
効果～「地域における本格的な人的活性化」「共生・交流の場」「共に豊かな生活者」
 3. 共に試行！共に実践！する<自分の好きなこと、出来ることを好きな時に>

どんな方法で：トライアンドエラー！(共感する仲間と共に「愉しむ」を中心に選んで！)
情報の共有・必要に応じて連携・シンジウム等の関係
 4. 若い地域人材を応援する「空気・仕組み」をつくる<公・民・学連携>

どんな方法で：「学」の地域還元活動により「知識・技能の発見・問題解決力、主体的学び力、ゆるいつながり力、共感力」を育む
※課題～「地域の良さが伝わる仕組み」「地域で活躍できる知識・スキル・考え方を身に付ける仕組み」

仕立て直しの時代 市内の先進的事例

海カフェドナ

（代表 柘植香織氏・宮川）

宮川海岸の古民家を夫婦でリノベーションして2012年にオープン。自然に寄り添った暮らしと食の提案を行っている。ひとの精神は人間関係の中で形



成されると共に、風景によって創られると言われている。

青い海に向かって佐渡が見える風景は、花を活（い）けるように柘植氏がまさに活けた海の風景である。心地よい海の風景や波音などの自然を五感で感じられる特別の場だと思ふ。

古代の人たちが眺めていたであろう、この海と令和の私たちが眺めていた海は同氏によって見いだされ共感を得ている。

看板メニューは心と身体が喜ぶ玄米プレート。平日は市内から、土日には新潟市や上越市から大勢のファンが来訪する。

◆ここが凄い！

○ストレスや人間としての心の汚れをリセットすることの価値を創出。①日常の空間から

- ちよっと離れる
- ②心地よい海の風景・波音③楽しい会話④美味しい健やかな食⑤ゆったりした時間⑥自然を取り込んだ内部の設（しつら）えによって実現。
- 暮らしを豊かにするニューインフラ及びおよび地域内外とのつながり。

サウナ宝来洲

（代表 柘植香織氏）



ウナ宝来洲を通して、さらに海とビーチの魅力を膨らませ、人々が共感する情緒的価値の最大化を図って県内外から多数の来訪者が繰り返し訪れている。

◆ここが凄い！

○サウナを介して鯨波全体の魅力を伝える、インパクトのあるリフレッシュ価値を創出。特に鯨波の海やビーチの多様な情緒的価値を創出。日本海が火照った体を冷やす水風呂になり、屋上のデッキは心地よい風景に浸る場となっている。

○暮らしを豊かにするニューインフラ及び地域内外とのつながり。

2021年にテロワール（フランス語で土地の個性を意味する）の考えを基に新潟らしさを具現化したサウナをオープン。

また、柘植氏はこれまでも海水浴場としての鯨波の海がニーズの変化によって年々寂しくなっていく中で、「海の新しい愉（たの）しき」という情緒的な価値（美しい、楽しい、気持ちいいなど）をシーカヤックやパドリング、ビーチパーベキュー、ビーチヒクニックなどを通して創出してきた。

そして、究極のアウトドアサ



阿部酒造株式会社
 6代目兼製造責任者
 阿部裕太氏 安田

2015年から蔵人。新潟県
 の日本酒は端麗辛口が特徴と言
 われている中で、業界の常識に
 とらわれることなく芳醇な味わ
 いの酒造りに取り組んでいる。
 特に「あべ」シリーズでは米の味
 を大切に生酛造りで30日かけて
 奥行きのある酸味や複雑な味を
 醸しだしている。また新しい日
 本酒への挑戦酒と言われている
 ★（スター）シリーズや柏崎と米
 農家への関心を高め柏崎に足を
 運んでもらいたいとの思いを込
 めた園（ほ）場別シリーズもファ
 ンが多く、日本酒の可能性を
 表現し続けている。

これらの酒造り
 は四つの理念で裏
 打ちされている。そ
 の理念とは①リス
 トランテの最初か
 ら最後まで②常に
 発酵を楽しむ③「庄
 倒的に」うまいを目
 指す④常に挑戦者
 であれである。

これらに対応し
 て年間70回の仕込
 みを行う手間暇か
 けた酒造りに取り
 組む。

2024では全国17位、県内第
 1位を獲得している。
◆二こが凄い！



○日本酒の可能性を表現し続
 け、美味（おい）しさ、楽しさを
 介した外とのコトのつながりと
 そのセンス&オリジナリティ。
 ○内外のつながり及び暮らしを
 豊かにするニューインフラ。

「たまえ玉」の販売である。
◆二こが凄い！

○里海の未来資源である風土に
 着目し、その土地に潜在してい
 る価値をすくい上げ、それを誇
 りに想って、地域内外とつな
 がり他者に提供していくことで、
 自身の喜びと小さな経済を生み
 出している。

海辺のキッチン倶楽部もく
 （代表黒崎朝子 笠島）



笠島に皆が集まるお店が欲
 しいと2017年1月に、築
 118年の蔵を活かして席数
 8席の小さなカフェ

を開店。コーヒーが
 飲めて、気軽に笠島
 の海産を食べること
 が出来る店となっ
 ている。笠島の岩のり
 は江戸時代から有名
 で、1月に採れる岩
 のりを食べてほしい
 との思いが込められ
 ていた。お店の看板
 メニューは笠島満喫

ランチで鯛（たい）赤飯、もぞ
 く汁、味付けえさ、フリのあら
 入りのっべ、焼魚等々の伝統食
 である。

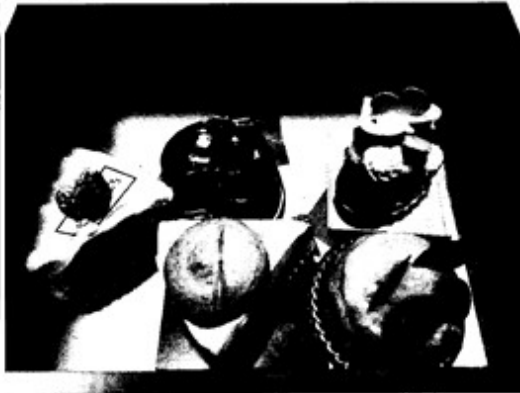
週3日（金・土・日）の営業
 でお客さんには目的を持って笠
 島に来る方と、旅の途中でグー
 グルマップを見て来る方がいる
 とのこと。
 今、力を入れているのは、お
 酒の新茶屋さんとのコラボで笠
 島もすくと酒かすを組み合わせ
 た「米山三里クッキー」、海藻
 を食べて成長する「ささえ」を
 独自に開発した新しい食べ方

**心豊かな幸せ感
 愉しく生きる**

株式会社三馬力社
 （取締役 三馬 力）

日本における馬耕は1955
 年ごろを境にしてほぼ姿を消し
 たと言われている。その背景
 には53年に農業機械化促進法
 （2018年に廃止）の施行が
 ある。そもそも日本の牛馬耕の

『人口減少の中でも幸せ感を育む』を考える



菓子工房 やしろ
（代表 矢代 愛氏・半田）

柏崎にはお菓子屋さんが多いと言われている。越後縮布や石油産業、その後の機械金属工業

など全国展開にみられる経済の活況と併せてお菓子文化が形成されてきたのではないだろうか。 やしろでは旬な素材や地元ならではの素材を積極的に取り入れ、こ

ろは旬な素材や地元ならではの素材を積極的に取り入れ、こ

ケーキ、郊外への移動販売などお菓子文化と家庭をつなぐ活動もしている。そして、自分らしい人生を刻みながら共創による日常の豊かさを表し、地域の光を魅（み）せる・示すことを行っており、

【まとめ】 関原剛著「クニ」とは何かの中に、『土地の力に身をゆだね、他者の力を信じ、自分の力を信じ、日常の凡たる暮らしに豊饒（ほうじょう）を感じる』とある。自然にあり、自在であれば、ものことは楽しい』そして末尾に『楽しくもない場所に、人が集いはしないのだから』と結んでいる。

共に楽しく自在に、自分ごとを地域ごととちょっと意識し、日々活動を自指したい。

知恵と工夫
「希望の島」に

地域の風土や文化・歴史を活かした生業が地域内外とのつながりを生み出し「地域の幸せ感」を育むのだと思う。

◆「二」が凄いい！

○定番のお菓子メニューに加え、季節の旬な果物や野菜、地域ならではの素材を活かしたお菓子づくりやお菓子と家庭をつなぐ活動をしていること。

○暮らしを豊かにするニューインフラ及び地域内外とのつながり。



つと言えよう。

◆「二」が凄いい！

○馬耕・馬搬という、かつて地域にあったものを使って、地域にない新しい価値を創ることや活きた伝統文化が改めて里山・里山の豊かさを示している。

○新しい価値・愉しさを創る。

キッカケは平安朝中期以後に牛馬が「国家・貴族」以外の「豪族や大農」でも所有するようになったこと起因している。

これまで中山間地域では棚田の美しい風景にスポットが当たっていたが、馬耕は①農の楽しさ②伝統文化の新たな価値化③化石燃料を減らす④作土の天地返しによる土壌の再生等々農地の土壌を修復・改善しながら自然環境の回復につなげることを

目指す環境再生型農業として注目されている。 「モノを作る！」から「価値をつくる！」ことの具現化の一



産大レクチャー ●●● ア・ラ・カルト

〈205〉

大学の「地域連携センター」は2016年に大学と地域をつなぐ総合窓口として開設され、新年度には10年目の節目を迎えます。この間、コロナ禍では地域連携活動を行う機会や参加人数はかなり減少したものの、この1、2年でそれ以前を上回る状況まで大きくV字回復しています。

また23年11月の日本経済新聞社「大学の地域貢献度調査」（全国518

と関わっていくさまざまな案件が属します。「基本的にどんなことも何らかの形で引き受ける」姿勢で臨んでいます。そして、これらの背景にある問題意識を、大きく三つ

の影でではなく、地域の方々から「こゝ、柏崎で」大学や大学生と連携したいという声があがったこと、それに全力で応えることが大前提です。二つ目は「学びの専門

なりですが、観光、食や農業、スポーツといった具体的なテーマに注目することで、より多くの教員の専門を活かした多様な連携を可能にしています。

す。「大人」たちの期待や要望に真摯（しんし）に応えることとどまらず、例えば、スマホ教室の開催やPR動画の制作といった、若者世代の感性得野を活かして、ワクワクしながら地域の課題解決に結びつける活動は、彼らの主体性を存分に発揮した成功体験となり、自己肯定感の高まりへとつながります。ひいては、そうした経験を得られた地域社会への愛着へと変容していく可能性を秘めています。

近年、在学中に地域連携活動に精力的に取り組んだ県外、市外出身の学生が、卒業後に地元に戻るのではなく、新潟県内、柏崎市内での就職を選択し、活躍している姿が目立ってきました。彼らは卒業後も折を見て大学の行事や学びの場面にも駆けつけ、在学生に刺激を与え、柏崎で生きる姿を身をもって伝えてくれます。この地域で生きる若者を育て「人づくり」こそが、大学生が地域社会に対して最も貢献できる「まちづくり」ではないでしょうか。

（経済学部 准教授）
毎月1回掲載

「人づくり」「こそ 「まちづくり」

権田 恭子

の視点から検討し、どのような形での連携協力が可能かを考えています。一つ目の問題意識は

「地域からの期待、必然性」です。他の地域の成功事例や流行（はや）りも

性、学問的関心」です。しばしば「経済学部」としての専門性を活かした調査研究等が期待され、経済学、経営学を専門とする教員、セミナーでの取り組みが多く

そして三つ目、私が特に重視したいのが、「学生自身の興味関心、達成感」です。先の二つを念頭に置きつつ、学生自身にとつての動機づけ、問題意識を大切にしていま

んだ県外、市外出身の学生が、卒業後に地元に戻るのではなく、新潟県内、柏崎市内での就職を選択し、活躍している姿が目立ってきました。彼らは卒業後も折を見て大学の行事や学びの場面にも駆けつけ、在学生に刺激を与え、柏崎で生きる姿を身をもって伝えてくれます。この地域で生きる若者を育て「人づくり」こそが、大学生が地域社会に対して最も貢献できる「まちづくり」ではないでしょうか。

留学生 姜さん優秀賞

中央ロータリー 懸賞文コンテスト

柏崎中央ロータリークラブ（三井田誠会長、会員数35人）が2024年度留学生懸賞文コンテストの表彰式を市内東本町1のバル酒場「パビコ」で行った。最優秀賞の新潟産大大学院1年・姜尚昆（キョウ ショウコン）さん26らの研ぎをたたえた。

同コンテストは2004年、産大、工科大で留学生から地域との交流、相互理解を深めてもらおうと設けられた。本年度は文化や経済、国際交流などをテーマに、7点の応募があった。審査の結果、優秀賞、佳作、努力賞各1点、参加賞4点が選ばれた。表彰式は先月下旬に開かれた。



柏崎中央ロータリークラブの留学生懸賞文コンテストの受賞者。三井田会長（前列右）と、優秀賞の姜尚昆さん（後列右から3人目）市内東本町1

三井田会長は「独自の考えを持ち、素晴らしい内容だった。柏崎の人たちと交流を持ち、母国で柏崎や日本の良さを伝えてほしい」と述べ、受賞者一人ひとりに表彰状と副賞を手渡した。

6人の審査員を代表し、産大の絹川ケニイ教授は「自分の考えをいろいろな表現でまとめ、素晴らしい。異文化交流、地域の課題解決のため、これからも頑張ってもらいたい」と評価した。

同クラブの横村尚人・国際奉仕委員長は「いずれも優秀のつけがたい論文だった。日本と母国の橋渡しとして、つながってもらいたい。論文がきっかけになればいい。伝統的な取り組みを続けていきたい」と述べた。

最優秀賞の姜さんは中国山東省出身で、柏崎で学び約6年。「受賞は大変うれしい。商店街の空き家や起業、移住者など柏崎で生活する中で感じたことを論文にした。柏崎の人から助けてもらい、感謝したい。一生懸命に勉強し、柏崎の地域発展に貢献したい」と喜びをかみしめた。

懸賞文コンテストの受賞者は次の通り。副賞は優秀賞5万円、佳作3万円、努力賞2万円、参加賞5千円。

優秀賞Ⅰ「私たちの柏崎―未来への提言―」姜尚昆（中国・産大大学院1年）
▽佳作Ⅰ「柏崎における地域イノベーションの可能性」海日罕Ⅱヘイリハン（同・同大学院2年）
▽努力賞Ⅰ「第二の故郷」ヴァイ トオウン（ベトナム・産大2年）
▽参加賞Ⅰ「柏崎市地域活性化の新たなアプローチ」陳雷明Ⅱチン ライメイ（中国・工科大大学院1年）
「文化と経済の差異を探索し、中日協力を促進する」柏崎を例に「ト麗哲Ⅱボク セイテツ（同・同）、「大連市と柏崎市の伝統文化について」王思玉Ⅱオウ シギョク（同・産大1年）
「留学生目線での文化交流と協力」柏崎とバヤンオウルの不思議な出会い」劉佳華Ⅱリユウ カイカ（同・産大大学院2年）

吹奏楽の音で ニューイヤ―

12日に市民プラザ

市内の高校吹奏楽部など
によるニューイヤ―コンサ
ート「ウィンターライブ2
025」（同実行委員会主
催）が12日午後3時から市
民プラザで開かれる。

ライブでは、吹奏楽の音
で年の始めのひとときを楽
しむ。出演は柏高、常盤、
柏崎総合、産大附属、柏崎
翔洋の各校吹奏楽部、新潟
産大、市吹奏楽団ほか。

演奏は「ラッツキ―行進
曲」「昭和アイドルコレク
ション」「Blind―B
ang―Bang―Bor

」など。入場無料。終演
予定は4時。問い合わせは
実行委事務局の桑野さん
（電話090・2748・
2983）へ。

柏崎地区は363人志願

大学共通テスト 18・19日 産大で

2025年度大学入学共通テストが18、19日、全国一斉に651会場で行われる。今回から新しい教科「情報」が加わり、7教科31科目。柏崎地区の会場は新潟産大で志願者は363人。前年度の305人より58人多い。全国の志願者は3257人増の49万5171人。前年度に続き50万人を下回ったものの、7年ぶりに増加に転じた。受験地別では、新潟県は

94人増の8732人。このうち現役生は122人増の7998人。高校3年生に対する共通テストの志願割合を示す現役志願率は全国平均45・5%を4・1ポイント上回る49・6%。

試験日程は、18日が午前9時半から「地理歴史・公民」の2科目選択、10時40分から1科目選択。午後1時から「数学①」、3時から「数学②」、5時から「情報」。終了は6時。

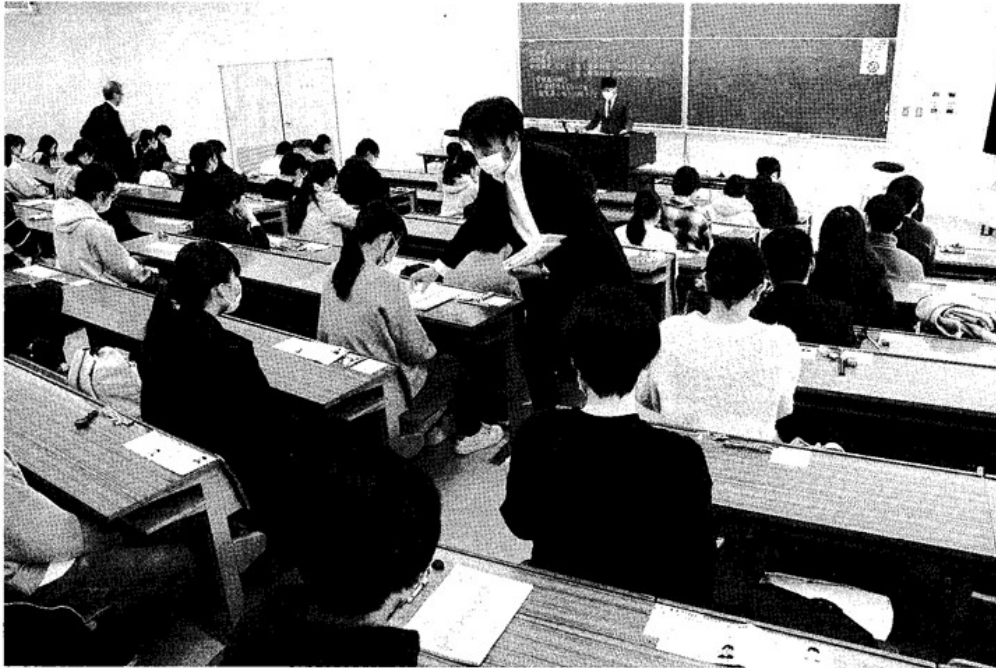
2日間とも午前8時開場。JR柏崎駅南口からの路線バスと臨時バス（※印）の運行ダイヤは次の通り（かっこ内は到着予定時

間）。19日は臨時バスのみ。運賃は片道300円。

柏崎駅南口発▽18日※
 午前8時（8時20分）、8時10分（8時35分）、8時34分（8時55分）、8時35分（9時）、10時（10時25分）、午後0時（0時25分）、2時20分（2時45分）▽19日※
 午前8時（8時20分）、8時20分（8時45分）

新潟産大発▽18日※
 10時50分（11時15分）、午後0時33分（0時59分）、2時55分（3時20分）、4時30分（4時55分）、5時10分（5時33分）、6時5分（6時29分）、※6時45分（7時5分）▽19日※
 午後4時30分（4時50分）、※6時20分（6時40分）

真剣勝負363人が挑む 大学入学共通テスト 柏崎地区会場



1時間目の「地理歴史・公民」の2科目選択の受験生に、袋詰めされた問題冊子を配る試験官。18日午前9時過ぎ、新潟産大

本格的な大学受験シーズンの幕開けとなる2025年度大学入学共通テストが18日から、全国651の会場が始まった。柏崎地区の試験場となった新潟産大では、昨年より58人多い363人が挑んだ。共通テストの志願者数は前年より3257人増の49万5171人で、このうち新潟県は94人増の8732人だ。新潟産大会場は午前8時に開場。雪もなく、穏やかな天候だったが、気温は1度と低く、受験生らは足早に試験会場に向かった。

に寝て、本番に備えた。思ったよりも緊張していない。いつも通りの力を発揮したい」と話し、男子生徒は「昨晩は11時半ごろまで試験科目を復習し、普段通りに朝6時に起きた。緊張しているが、1点でも多く取れるように頑張りたい」と意気込みを見せた。

1時間目の「地理歴史」「公民」の2科目選択の試験場では、受験生が机の上に鉛筆や消しゴムなどを置いて静かに待ち、受験票と席番号をもう一度確認した。問題用紙・解答用紙などが配布される前に、試験官が携帯電話や電子機器などの電源を切ることなどを指示し、「試験中に電子機器を身につけていると不正行為になる」と注意を求めた。

初日午前は地理歴史・公民、午後から国語、外国語で、終了は6時20分。最終19日は理科、数学①、数学②、新教科の情報。終了は6時と前年より試験時間を延長する。

柏崎中央ロータリークラブ 留学生懸賞文コンテスト

優秀賞 私たちの柏崎 — 未来への提言 — (上)

姜 尚 昆 (新潟産業大学大学院
経済学研究科1年)

I、はじめに

光陰矢の如く(ごとし)。柏崎市に来て5年目になった。初めて日本の地を踏んだときのことを振り返ると、期待と不安でいっぱいだった。知らない言語、異なる文化、すべてが目新しく戸惑った。日本に来てからは、大阪の日本語学校に1年半通っていた。日本人や

外国人の友達もたくさんいたが、私はそのにぎやかな都市に溶け込むことができなかった。

II、優しい柏崎

柏崎に着いたとき、そこはとても静かで、大阪とは正反対の世界だった。騒々しい人波も、高くそびえるビルが並ぶ光景もなく、取って代わったのは青い山、青い水と緑の田園の小遣だった。私は忙しい都市から一転して、静かな時のような世界に入った。風景だけでなく、人も

都会とは違っていた。私がスーパーでアルバイトをしていた時、よく買い物に来てくれた高齢の女性があった。その方は、私が外国人で柏崎に留学にきていると知って、わざわざお菓子を売ってくれたり、何度も話しかけてくれたりして、いつも励ましてくれた。私はその方の優しさに、とてもあたたかい気持ちになった。

参加した。この講座は主に早稲田大学の日本語教育専門家や日本人にやさしい日本語を使って外国人とコミュニケーションする方法を説明するものだ。講座には小中学校の先生や企業関係者、市役所の職員なども多く参加している。私はそこで「外国人先生」として外国人とのコミュニケーションを手助けする仕事をした。私はやりがいを感じると同時に、柏崎市の皆さんが外国人のために頑張っているのを見て、とてもうれしく感動し

た。また、2020、21年の新型コロナウイルス感染症蔓延の時、私たちは柏崎市の社会福祉協議会から何度もお米や野菜などの物資の支援を受けた。これらの人々の行動は、この冬の寒い町が、家に帰るような暖かさを抱いていることを示している。しかし、今の優しい町は多くの問題に直面している。

III、柏崎市の苦境

柏崎は今、苦しい現状がある。まず一つは人口問題だ。私が2020年に柏崎に来たとき、柏崎市の人口は8万5千人あまりだったが、24年9月末の時点で7万6千人あまりと、4年間で1万人近く減少している。人口の減少は、都市の発展に多くの新しい問題をもたらす。特に消費の中堅である若者の流出により、商店街の客数は年々減少し、それが多くの店舗の閉店につながり、「空き店舗」を生み出している。空き店舗の増加は、商店街全体の景観や公共の安全を悪化させるだけでなく、個々の店舗と商店街全体とのつながりを弱める悪循環を生み出す。さらに、後継者問題もある。ただでさえ若い人には「老舗」を継ぐ意欲が足りないのに、人口減少で経営がうまくいかなくなる恐れがある。店を継ぐ若者はますます少なくなる。

そしてもう一つの問題は、柏崎市の観光だ。市の南西岸には福浦八景とよばれる景勝地があり、佐渡弥彦米山国定公園に指定されている。砂丘浜通りには県下有数の体育施設と緑地公園があり、番神岬から米山海岸には鯨波、青海川、笠島などの海水浴場が立地する。このように豊富な観光資源があるにもかかわらず、近年の観光形態や需要の変化により、観光客数は減少傾向にある。また、柏崎地域の重要な観光である海水浴は、主に夏の一時期に集中するが、天候によって観光客が大きく変動するし、夏以外の時期は閑散としている。さらに、レジャーの多様化に伴い、観光を好む人々が減少していること、交通網の発達で日帰り客が増え、宿泊客が減ったことなどによる経済効果の減少という問題がある。



姜尚昆

W杯 水球男子日本6位に ブルボン2選手も活躍

水球男子のワールドカップ（W杯）がルーマニアで行われ、ブルボンウオターボロクラブ柏崎（アルボンKZ）2選手を擁する日本が6位に入った。日本は上位6チームが出場できる4月のスーパーファイナルに進出する。

W杯は11カ国が出場し、7～12日に開催。ブルボンKZからは、新田一景選手（26）と稲場悠介選手（24）が代表入りしていた。日本は準々決勝では強豪・ギリシャと対戦し、稲場選手が6得点を挙げる活躍を見せたが、16―20で敗戦した。5～8位決定戦ではジョーシアに19―18で競り勝つなどして6位となった。

吹奏楽の響き 年明けに元氣

市内高校生ら
コンサート

市内高校吹奏楽部などの



市内の高校吹奏楽部などによるニューイヤークンサート。マッケンサンバで盛り上がった12日、市民プラザ

ニューイヤークンサートが12日、市民プラザで開かれた。吹奏楽の音色が会場を包み、来場者約2000人を楽しませた。コンサートは「Winter Live2025」として実行委員会が主催。柏高、常盤、柏総、産附、翔洋の5校の吹奏楽部が出演した。新潟産大吹奏楽部、市吹奏楽団も参加し、総勢約70人でステージを作った。演奏は「ラデッキー行進

曲」「デキラ」「トトロ」「ファンタジー」などを次々と。元氣いっぱい踊りも登場したアンコール曲の「マッケンサンバ」まで息を合わせた。会場の手拍子が曲を盛り上げた。

会場で、中学生の長女も出演したという市内北斗町、渡辺陽子さん（42）は「迫力ある演奏で素晴らしい。年の初めに元氣がもらえた」と言い、次女の楳原小3年・悠梨さんは「上手ですごく良かった。自分も演奏してみたい」。

コンサートを終え、翔洋5年・志田琴美さんは「他校の友達と交流しながら、楽しく演奏できた。今度は3月の定期演奏会に向けて頑張りたい」。常盤2年・馬場成美さんは「みんなの練習成果が出て良かった。お客さんに喜んでほしい、自分たち自身も楽しくできた」と笑顔をのぞかせた。

指揮棒を振った同実行委事務局の桑野勲・市吹奏楽団長（53）は「練習時間が短かったにもかかわらず、みんなが一生懸命で音がそろっていた。年明けのコンサートにふさわしく元氣な音楽が届けられた。年に一度、高校生が一堂に集まって演奏できることは大事だ。毎年の恒例行事として続けていきたい」と話した。

柏崎中央ロータリークラブ 留学生懸賞文コンテスト

優秀賞 私たちの柏崎——未来への提言——（下） 姜 尚 昆

（新潟産業大学大学院
経済学研究科1年）

IV 柏崎市の苦境に対する提言

IV-1 人口減少対策

人口減少に対しては、二つの対策で対応できるだろう。一つ目は田園生活を志向する外来者を呼び込むこと、二つ目は「人口還流」戦略だ。地域の人や文化などの恵まれた地域資源の情報や移住を促す施策を、SNSなどさまざまなソーシャルメディアを活用して田舎暮らしを目指す人に伝え、移住のきっかけを作

る。また、出身地や在学先は柏崎だったものの、就職などの理由で東京などの大都市で生活しているが、大都市の速くて騒がしい生活に嫌気がさしてきた若者に対して、U・Iターンを支援する。例えば、移住者やU・Iターン者には、住宅の家賃補助金や住宅取得手当を支給して新生活を支援する。柏崎で起業したい人には、市が空き店舗を活用して出店先を示したり、税制優遇などで事業を支援したりする。既

存の移住相談部署を活用して、移住チームビルディング、移住イベントなどを行うことで、移住に関する不安を解消したり、移住経験者から実質的なアドバイスを受けたりする。U・Iターン者も同様にケアする。

IV-2 商店街のまちづくり

空き店舗については、市が買い取り企業や店舗に対して税制上の優遇措置や融資支援などの施策を行うことで、空き店舗を減らすことができる。たとえば、地域のアーテイストやクリエイターと協力して、アートフェアやクリエイティブワークショップを開催し、空き店舗を地域の文化拠点にする。また、市の店舗の経営コンサルタンなど

を立ち上げて、店舗の近代化を支援や後継者育成などのサービスを提供する。老舗の経営については、今の若者はモノよりも体験を重視する傾向が強いので、老舗ならではの

はの技術や歴史を体感できるイベントを開催することで、若者にブランドの魅力をダイレクトに感じてもらうことができる。たとえば、ものづくりのワークショップで若い人に伝統工芸を体験してもらおう。若い人にとって新鮮で魅力的だ。農家や伝統文化産業などとコラボレーションし、

柏崎ならではのグルメや商品販売することもできる。

柏崎ならではのグルメや商品販売することもできる。

まず、柏崎農山村ならではの自然、文化、風土を生かしたエコツーリズムや農業観光などを展開する。都市部の観光客にさまざまな体験をしてもらう。柏崎の食の体験、柏崎の特色ある手工芸品や料理などを作る体験（商店街と連携して空き店舗を活用）など、

最後に、観光情報の統合が必要だ。現在は柏崎市のホームページに観光情報が掲載されているが、情報が乱雑に分散している上、観光地の情報が少なく、柏崎を訪れる観光客は情報収集に不便を強いられているように思う。観光資源を統合して、リアルタイムの交通状況や観光地の情報、民宿やホテルなどの情報を表示する独自の観光サイトを開発し、観光客が一目で情報を収集できるようにすれば、柏崎市の「観光性」を高めることができる。さらに、日常の農作業への参加など、果樹園での収穫や田んぼでの作業など、観光客を呼び込むための農業観光プログラムを開発する。

V、おわりに
柏崎市は、日本海に面した42キロに及ぶ長い海岸線と米山、黒姫山、八石山を有し、恵まれた自然環境に育まれたまちだ。柏崎市には多くの海水浴場があり、花火大会、伝統のお祭りや柏崎まつり、えんま市など豊かな文化活動や景観がある。さまざまな資源をいかに活用し、小さな町の呪縛を打ち破って少子高齢化社会の中で逆成長を実現していくかが、柏崎市の今後の課題となる。皆さんの努力によって、柏崎市は新しい時代の波の中で独自の道を歩み、発展していくことができると信じている。

IV-3 柏崎ならではの観光を目指す

今後の観光事業を効果的に進めるためには、柏崎市の観光資源を統合し、現在の観光資源の活用方法を見直す必要がある。一方で、観光客の

ニーズを十分に把握し、ニーズに応じて地域の観光資源を統合すると同時に、柏崎ならではの観光コースを作る必要がある。そして、さまざまなソーシャルメディアを活用したプロモーションに力を入れたり、市内の他地域や周辺市町村と連携して情報を発信したりして集客の幅を広げる。

最後に、観光情報の統合が必要だ。現在は柏崎市のホームページに観光情報が掲載されているが、情報が乱雑に分散している上、観光地の情報が少なく、柏崎を訪れる観光客は情報収集に不便を強いられているように思う。観光資源を統合して、リアルタイムの交通状況や観光地の情報、民宿やホテルなどの情報を表示する独自の観光サイトを開発し、観光客が一目で情報を収集できるようにすれば、柏崎市の「観光性」を高めることができる。さらに、日常の農作業への参加など、果樹園での収穫や田んぼでの作業など、観光客を呼び込むための農業観光プログラムを開発する。

最後に、観光情報の統合が必要だ。現在は柏崎市のホームページに観光情報が掲載されているが、情報が乱雑に分散している上、観光地の情報が少なく、柏崎を訪れる観光客は情報収集に不便を強いられているように思う。観光資源を統合して、リアルタイムの交通状況や観光地の情報、民宿やホテルなどの情報を表示する独自の観光サイトを開発し、観光客が一目で情報を収集できるようにすれば、柏崎市の「観光性」を高めることができる。さらに、日常の農作業への参加など、果樹園での収穫や田んぼでの作業など、観光客を呼び込むための農業観光プログラムを開発する。

大学入学共通テスト

産大会場は
トラブルなし

大学入学共通テストは最終日の19日、理科と数学Ⅰ、数学Ⅱ、新教科「情報」が行われ、2日間の全日程を終了した。柏崎地区会場の新潟産大では両日とも予定通りに行われ、大きなトラブルはなかった。

平均点などの中間発表は22日、得点調整の有無の発表は24日。体調不良者などの追試験は25・26日。会場は東京、大阪で。

国公立大2次試験（個別試験）の出願期間は27日～

2月5日。前期日程試験は2月25日から、後期日程は3月12日以降に行われる。

「新潟大学」 地域に学び 地域を学ぶ

— 史跡活動レポート —

刈羽小国際 セミナー

～留学生の活動～

刈羽小で先日開かれた国際セミナーに本学の留学生ディン、ティ、フォンさん、ウティ、トオウンさん（共にベトナム2年）、バク、ソンフンさん（韓国 3年）、マンダさん（中国 3年）の4人が参加した。

同校には毎年お世話になっている。各学年とも市内のALTがゲストスピーカーとしてそれぞれの国の文化（暮らしや料理、遊びや小学校について）の紹介をされた後、各留学生が用意したスライドを基に説明した。

1年生担当のフォンさん、トオウンさんには、女子児童が装飾品や髪型に非常に興味を示した。2人はベトナムの小学校に比べて児童が楽しく学んでいる環境を見て「日本の小学校に入り直したい」と感激した。2年生担当のソンフンさんのス

ライドによる韓流スターやドラマの紹介は、児童から歓声が上がった。「韓国のアートイストをはじめ、料理をたくさん知っていたので驚いた。親からの影響だと知って納得した」と笑顔で答えてくれた。3年生担当のマンダさんは中国について、多くの民族が暮らす大きな国だと紹介し、児童は驚きとともに学びを深めた。マンダさんは、児童が刈羽村のことを一生懸命に調べて紹介したことに感動し、「知識欲が旺盛で、質問も的確だったので勉強になり、楽しかった」と語った。

同校の戸田孝之校長からは「子どもたちのために、協力してくれた留学生に感謝するとともに、子どもたちにとって多国籍の方との交流のハードルが下がってくれば」とお礼の言葉をいただいた。

今後異文化を学ぶ機会を通して相互理解を深め、価値観の多様性を学ぶ場を大切にしたい。
（同大学地域連携センター）





小学生を対象に行われたブルボンKZの水球体験会＝19日、柏崎アクアパーク

水球楽しく！魅力いっぱい

ブルボンKZ 小学生対象の体験会

水球チーム「ブルボンウ
オーターボロクラブ柏崎
（ブルボンKZ）」による
体験会が19日、柏崎アクア
パークで行われた。約30人
の小学生が参加し、水球の
魅力に触れた。

体験会は競技の普及や裾
野を広げようと、毎年開催
している。この日は小学1
～6年生が参加。小学1～
3年生、4～6年生の2タ
ープに分かれ、ブルボン
KZの社会人選手らから水

中でボールを扱う感覚など
を学んだ。

試合形式のミニゲーム
もを行い、ブルボンの選手と
一緒に楽しくボールを追
った。枇杷島小1年・川上
時治君は「ゴールキーパー
でシュートを止めるのが
楽しかった。やったのは
初めてだったけど、またや
ってみたい」と声を弾ま

せた。

社会人選手の高田勇希さ
ん(26)は「子どもたちは楽
しんでいたようで、教えが
いがあった。水球に楽しく
触れ合うことで、長く続け
てもらえれば」と期待
を込めた。

奨学生の申請受け付け

2月3日から地元優先枠も

他制度と併給前提も

市は2月3日から、大学などに入学予定または在学中の人たちを対象にした奨学金の貸し付け希望者の申請を受け付ける。期間は3月31日（持参の場合は午後5時までに市役所へ、郵送の場合は消印有効）まで。2004年度からスタートした制度で、これまでと同じく地元の新潟産大、新潟工科大入学者の優先枠を設ける。他の奨学金制度との併給を前提とした申請も可とする。

この制度は、成績優秀な学生で経済的理由によって就学困難な人に対し、学資の貸し付けを行うことにより、教育の機会均等を図ることが狙い。市議会や市民の要望に応え、市が独自の制度として創設した。対象は今年4月に大学、短期大学、専門職大学、専門職短期大学、専修学校（専門課程で修業年限2年以上）に入学予定、在学中の人で、貸付月額が6万円以内。他の奨学金制度との併給を前提にした申請も可能だが、他の制度が併給を認めていない場合もあるため注意が必要だ。採用は25人で、このうち5人は地元優先枠。応募資格は申請日現在、保護者が市内に1年以上住所を有し、かつ市税等を滞納していない世帯であること、奨学金の貸し付けを受

けなければ就学が困難であること。大学等へ入学予定者、申請日時点で大学等1年生の場合、高校等の学習成績の評定平均値が3.0以上（5段階評価）など。

2年生以上は「申請する前年度までの在学期の成績で良以上またはB以上が全履修科目数の50%以上であること」。償還は卒業後1年据え置き、無利率で10年内。猶予、免除のほか、市のウエルカム柏崎ライフ応援事業補助金制度もある。奨学金の申請は、今年3月卒業見込み者は直接、在学中の高校へ。昨年3月以

前の卒業生、高校卒業程度認定試験合格者は持参または郵送で教育総務課（〒945-8511、市内日石町2番1号、電話21・2360）へ。大学等在学生は在学証明書も提出。募集要項、申請書は各高校、同課のほか、市ホームページに掲載。4月中に開く奨学金貸付選考委員会で審査し、奨学生を内定する。